

# 令和7年度北海道北見北斗高等学校学校評価

## 1 本年度の重点目標

「探究活動の充実」

学習指導要領の趣旨を踏まえ、これまでの「主体的・対話的で深い学び」も取組を継承・発展させ、SSHを中核に取り組んできた北斗高校らしい探究活動の一層の充実を目指す。

## 2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
主体的な学び	SSH事業を含めた探究活動を充実、観点別評価と授業の一体化については、取組の適切さともに、概ね目標を達成することができた。	自己評価の適切さについては、適切との評価をいただいた。改善に向けた適切さについては、適切との評価をいただいた。
改善方策	「本校生徒が身に付ける基礎力とは何か」を改めて教員で認識し、生徒自身の進路意識を高め、指導と評価の一体化を進めた授業を展開するよう授業改善を進める。また、探究活動の成果により、メタ認知力が前年度に比べ大幅に改善した。今後も続けていきたい。	
対話的な学び	ICTの活用、コミュニケーション能力の育成等については、取組の適切さともに、概ね目標を達成することができた。	自己評価の適切さについては、適切との評価をいただいた。改善に向けた適切さについては、適切との評価をいただいた。また、ICT活用について、課題に応じた新たなアプローチの必要性が必要との意見をいただいた。
改善方策	「公共・論理力」について、地歴・公民科の授業の一環として主権者教育を重視するなど、社会性を高める実践を続けている。「説明力」について、探究活動におけるアウトリーチ活動の成果が現れつつある。今後も継続していきたい。	
深い学び	個別最適な指導や探究活動については、取組の適切さともに、概ね目標を達成することができた。	自己評価の適切さについては、適切との評価をいただいた。改善に向けた適切さについては、適切との評価をいただいた。
改善方策	今年度の学校経営の重点事項が「探究活動の充実」であったこともあり、SSHや探究活動において対話的な学びや深い学びに繋がる充実した取組がなされた。今後も学校全体でSSHや探究活動に取り組む体制の確立に努める。	
校内組織	働き方改革や業務の改善については、一層の努力が必要である。その他については、取組の適切さともに、概ね目標を達成することができた。	自己評価の適切さについては、適切との評価をいただいた。改善に向けた適切さについては、適切との評価をいただいた。
改善方策	働き方改革について、今年度管理職・分掌部長を中心とした効率的な業務遂行の動きをとっているが、実働は次年度からである。いじめや不登校に対する適切な対応について、委員会が活性化することにより、組織としての動きが取れたことが大きい。今後も組織的な対応を進め、生徒に寄り添った関わりを進める。	
教職員	法令遵守、服務規律の保持や教職員の資質能力を高める研修等については、取組の適切さともに、概ね目標を達成することができた。	自己評価の適切さについては、適切との評価をいただいた。改善に向けた適切さについては、適切との評価をいただいた。
改善方策	教職員の業務が「個業」になり一人で抱え込まないよう、「組織的」に業務に当たるような体制作りに努める。また、道教委発表の懲戒処分の事例等の周知等を通して、不祥事を他人事と捉えず、緊張感を持って職務に当たるよう研修に努める。	
地域連携	保護者、地域、関係機関と連携・協力を図りながら、全教職員の共通理解の下で教育活動を行うよう心がけた。	自己評価の適切さについては、適切との評価をいただいた。改善に向けた適切さについては、適切との評価をいただいた。学校の情報発信について、外部を活用することも提案された。
改善方策	「地域から信頼される学校づくり」に努め、積極的な情報発信を図っていく。強行遠足や学校祭等多くの方にご協力いただいた。今後とも良好な関係作りに努めていく。また、SSHや探究活動を中心に、充実した連携が行われた。今後とも大学や地域と効果的な連携を図っていく。	
公表方法	学校公式ウェブページへの掲載	